笹岡ゆうこ一般質問（個別　子どもの最善の利益を考慮した施策について　議事録）

1. 子どもの最善の利益を考慮した施策について

子ども子育て施策において、子どもの権利及び子どもの最善の利益を考慮した施策を根幹に置き、市民にも伝わるようにしていくべきだと考えます。今後、第六期長期計画や第五次子どもプラン策定、子育て世代包括支援センター（仮称）のあり方や、子ども子育て応援宣言のまちの実体化など、本市の子どもの育ちや子育て支援などについて考えるに当たり重要な時期を迎えると考えますが、本市の考えを伺います。

市長：子どもの最善の利益については、第四次子どもプラン武蔵野の基本的な考え方に盛り込まれている非常に重要な視点であります。

例えば、ことし７月、子ども家庭部と教育部の合同研修会において、元武蔵野市子どもプラン推進地域協議会会長の網野武博先生をお招きし、子どもの最善の利益を考えるというテーマで講演会を開催いたしました。現場や施策立案の中で子どもの最善の利益を考えるとはどういうことなのか、子ども・教育分野に携わる職員として大切にすべきことなどについて御講演をいただきました。

今年度から２カ年をかけて策定する第六期長期計画や第五次子どもプラン武蔵野においても、子どもの最善の利益は重要な視点であると考えております。引き続き子どもの利益が最大限に尊重されるよう、子ども自身のニーズを重視した施策を展開し、市民の皆様にも伝わるようにしてまいりたいと考えます。

-------再質問（要望）---------

先日その子ども家庭部と教育部でやっていただいた子どもの最善の利益、網野先生の講演は、文教委員に声をかけてくださったので、ありがとうございました。私も出席させていただいて、あと議員は委員外の方が１名いたかなと思っていますけれども、非常に勉強になりました。お声がけありがとうございました。

そこの中で、やはりマジョリティの私たち大人が子どものことをしっかりと、マイノリティだから深く考えていくべきだと、そしてそれを市民に伝えていくべきだし、特に教育分野は管理が大きくなってしまって、最善の利益の部分が少なくなってしまうのだよというふうにおっしゃっておりましたので、皆さん聞いていたとおりなのですけれども、これからの大きなプラン、たくさん続きますので、ここの部分を根幹にしてやっていただきたいなと思います。